

奥飛鳥における 水辺環境の保全と創造

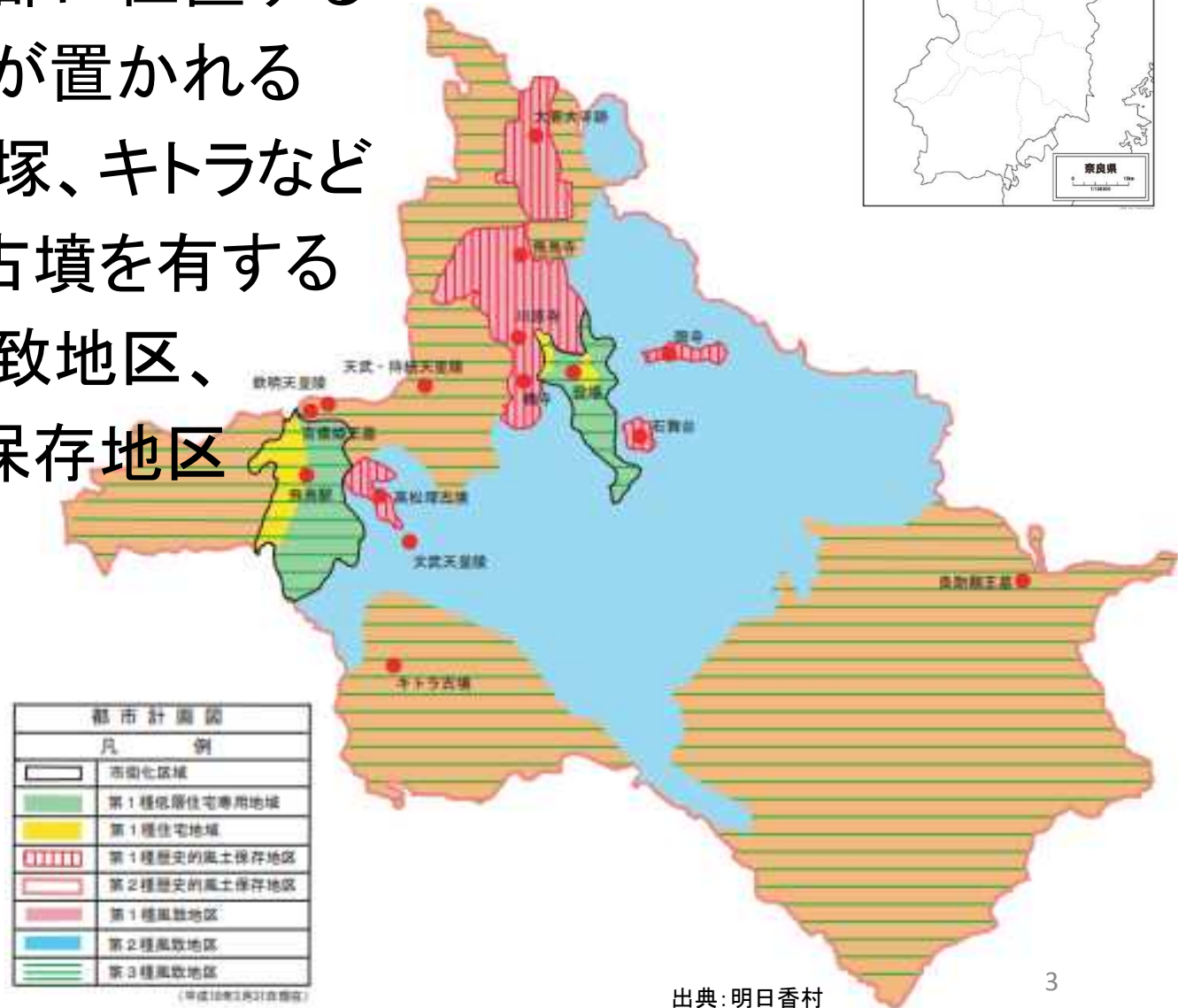
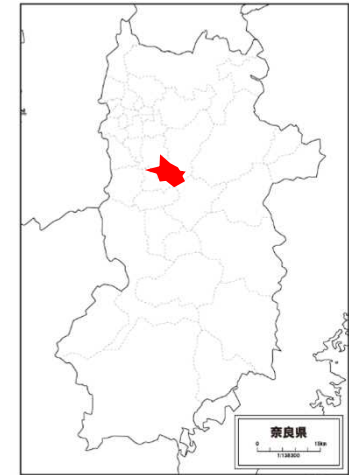
奈良県中和土木事務所
岡本 真輝

目次

- 概要
 - 明日香村について
 - 明日香法について
 - 奥飛鳥について
 - 飛鳥川について
- 神奈備の郷・川づくりについて
 - 奥飛鳥における飛鳥川改修
 - 遊水部整備の効果
 - 景観の保全と創出
 - 河川整備による自然環境への影響
 - 地域との協働

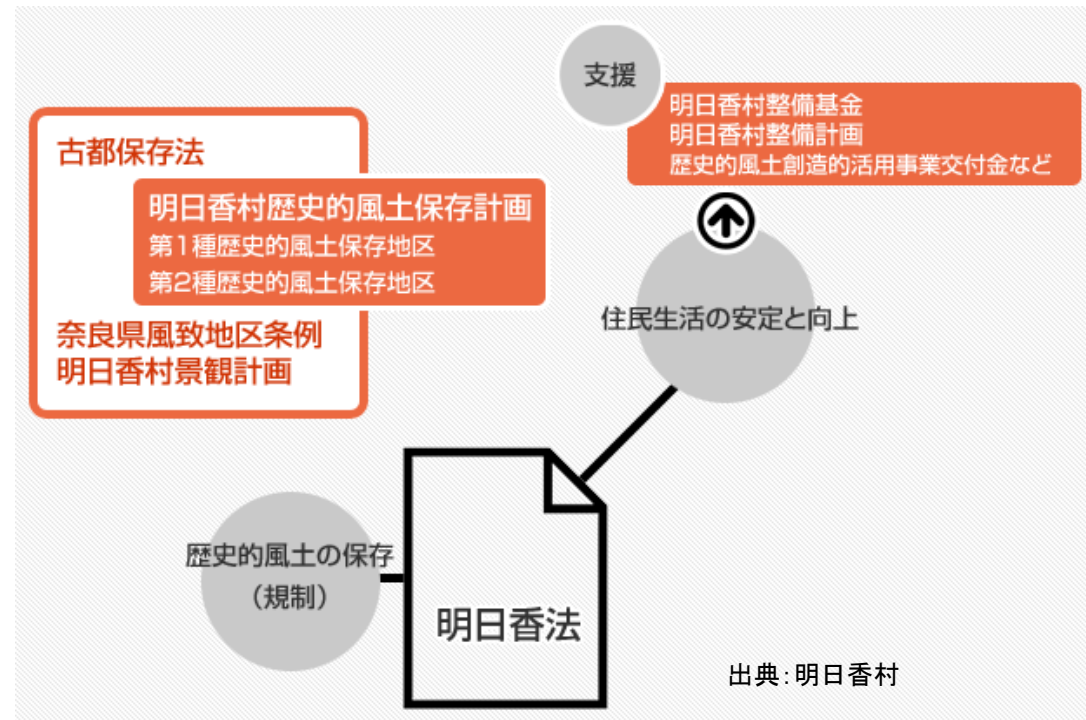
明日香村について

- 奈良県の中央部に位置する
- 飛鳥時代に都が置かれる
- 石舞台や高松塚、キトラなど
多数の古墳を有する
- 村内全域が風致地区、
歴史的風土保存地区



明日香法について

- 明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法
- 1980(昭和55)年 公布・施行
- 「歴史的風土の保存」と「住民生活の安定と向上」の両立



奥飛鳥について

- 大字祝戸、大字阪田の一部地域と
大字稲渕、大字栢森、大字入谷の全域計565.8ha
- 文化的景観
 - 地形に即して営まれてきた居住の在り方
飛鳥川沿いの河岸段丘や、山裾、山の緩斜面に集落が展開
 - 農業を中心とした生業の在り方
棚田およびそれを維持してきた農業の仕組
- 平成23年3月「奥飛鳥の文化的景観」保存計画を明日香村が策定
- 平成23年9月「奥飛鳥の文化的景観」が重要文化的景観に選定された

奥飛鳥の景観

稲渕の棚田



綱掛神事 女綱



飛鳥川飛び石

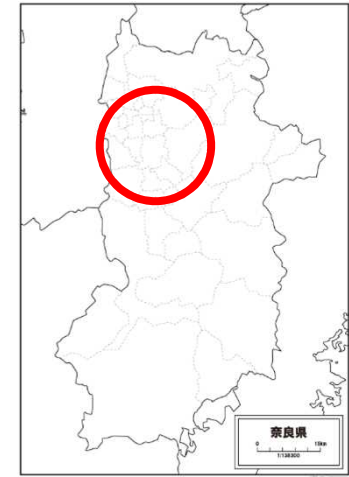


飛鳥川のもみじ



飛鳥川について

- 大和川の一次支川
- 奈良盆地の中央部で大和川に合流する
- 明日香村の中央部を南北に貫く
- 万葉集にも数多くの歌が詠まれる
- 流域面積：
約43km²
- 流路延長：
約24km



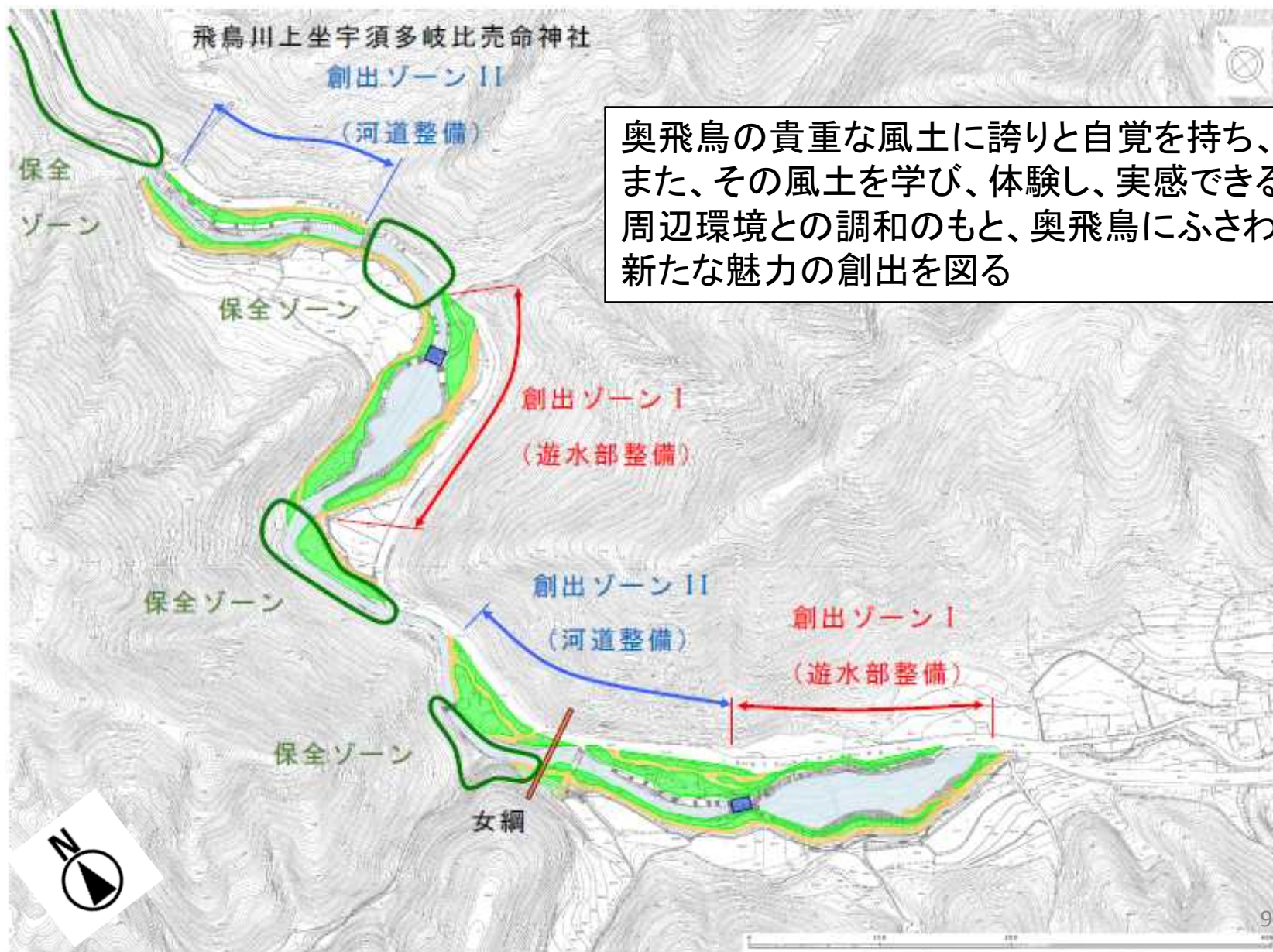
奥飛鳥における飛鳥川改修 ～神奈備の郷・川づくり～

- 下流域において洪水被害が発生している
→ 下流域の洪水被害軽減 及び
未改修区間の治水安全度の向上 を目的とする

【課題】

- コンクリート護岸など人工構造物が見え、
奥飛鳥の景観にそぐわない箇所がある
- 急勾配の護岸により水際まで近づくことができない
→ 奥飛鳥の自然環境や風土と調和し、
飛鳥川にふさわしい河川環境の創出

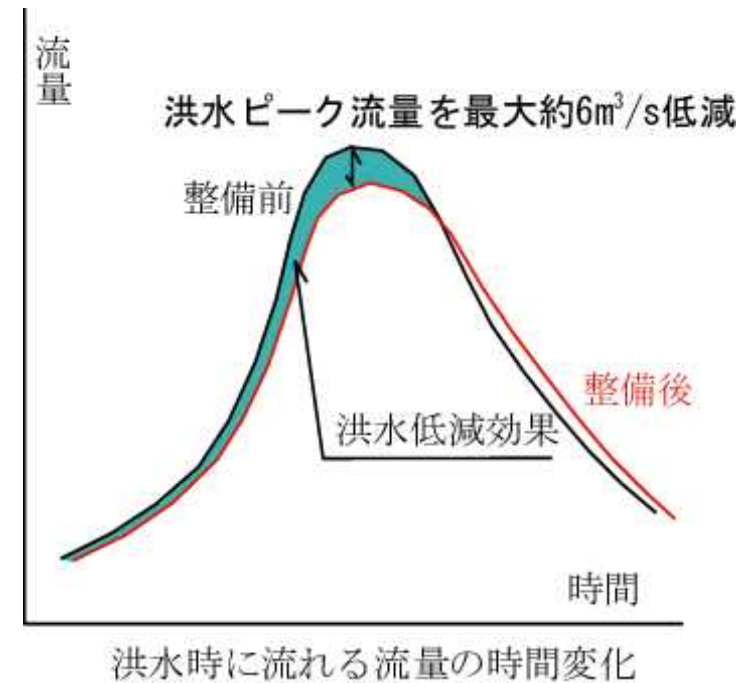
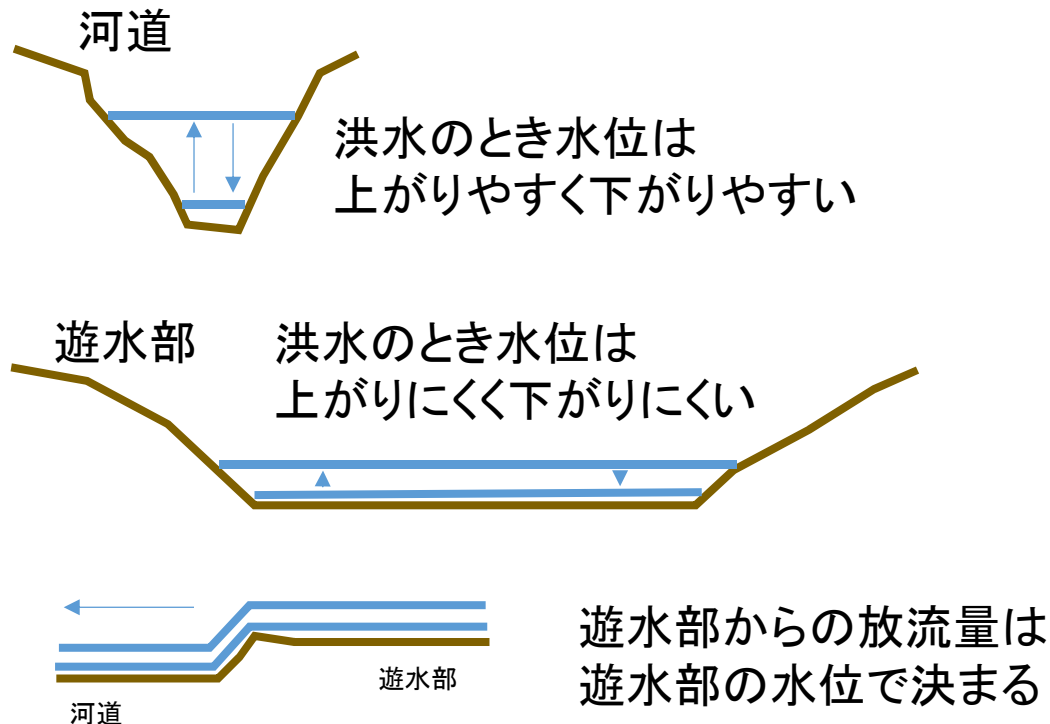
神奈備の郷・川づくりの概要



奥飛鳥の貴重な風土に誇りと自覚を持ち、
また、その風土を学び、体験し、実感できるよう、
周辺環境との調和のもと、奥飛鳥にふさわしい
新たな魅力の創出を図る

遊水部整備の効果

- 洪水の流出を遅らせることによって、10年に1回程度発生する洪水に対し、下流域で洪水ピーク流量を最大約 $6\text{m}^3/\text{s}$ 低減



- 下流河川における内水被害の軽減、未改修区間の治水安全度の向上
- 明日香村内における飛鳥川の改変の軽減

保全ゾーン

- 現況の自然環境を保全
- 堤防天端に遊歩道を設置

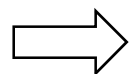
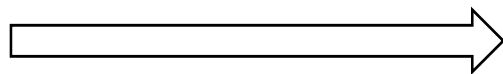


創出ゾーン I (遊水部整備)

- 法面の緩勾配化
- 護岸の緑化
- 既存樹木の保全・移植、万葉樹種や現存樹種の植樹



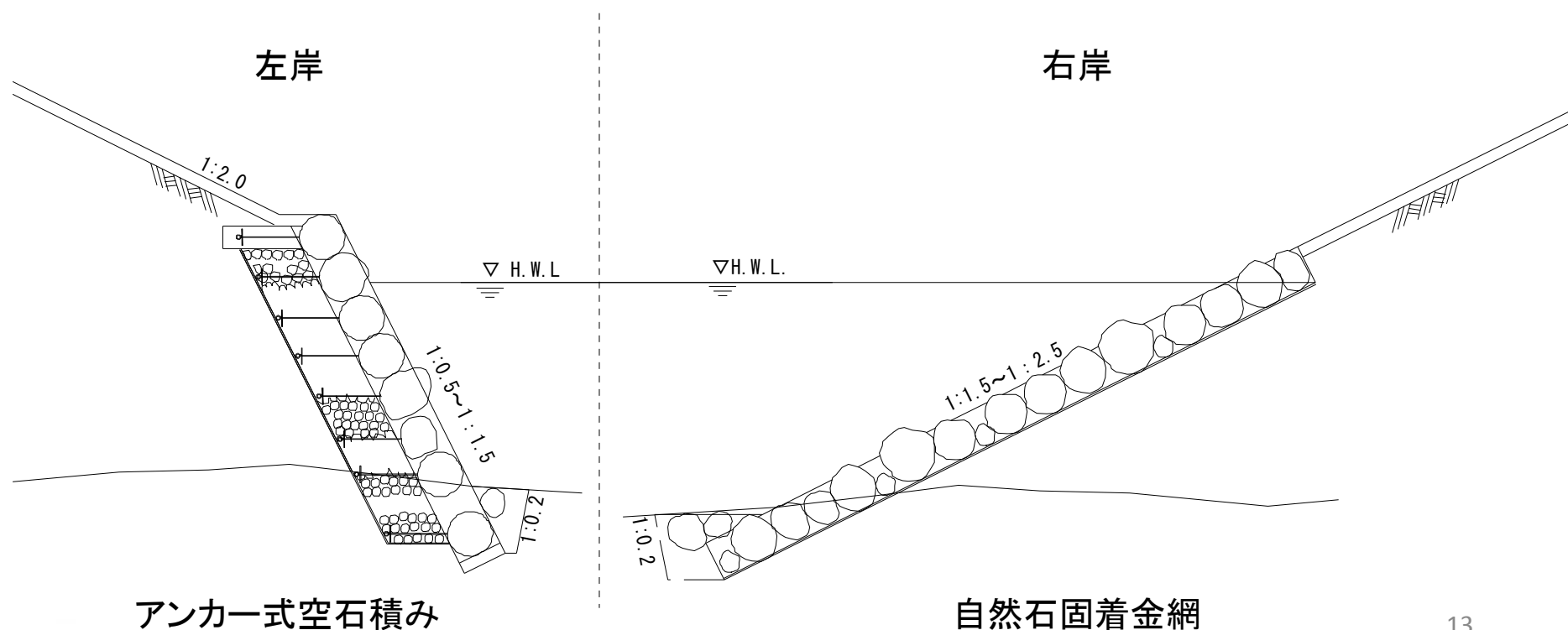
下池



上池

創出ゾーンⅡ（河道整備）

- 現況のみお筋（瀬・淵）の保全
- 法面の緩勾配化、遊歩道整備による親水性改善
- 現地発生石と土を用いる
- 既存樹木の保全・移植、万葉樹種や現存樹種の植樹

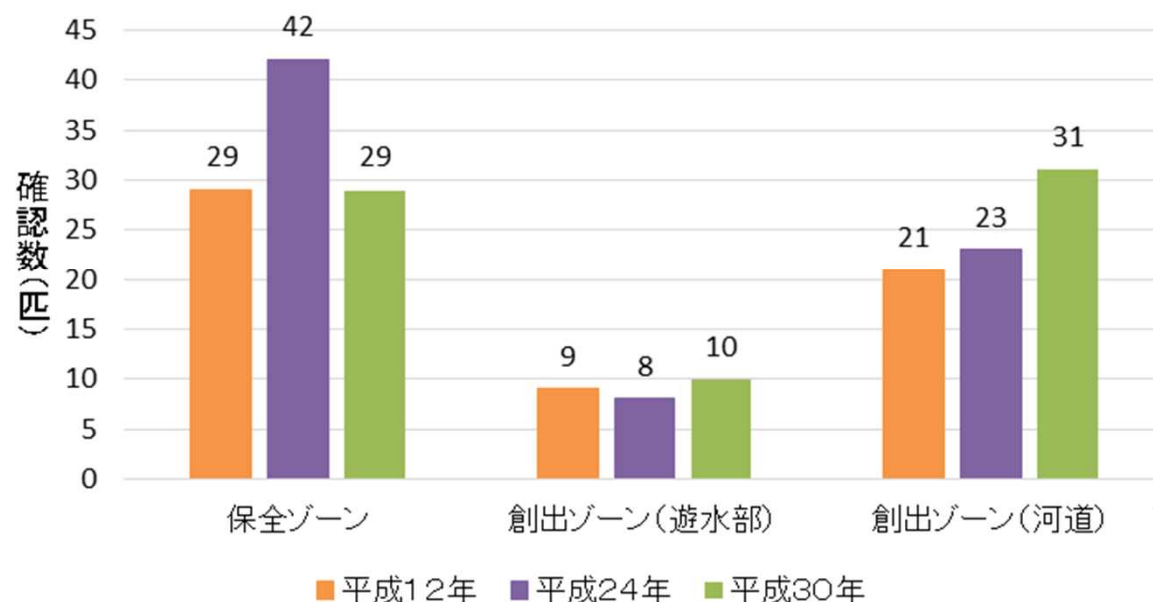


河川整備による自然環境への影響

- 整備前(平成12年)、
遊水部整備後(平成24年)、
河道整備中(平成30年)において
ホタルの成虫調査を実施



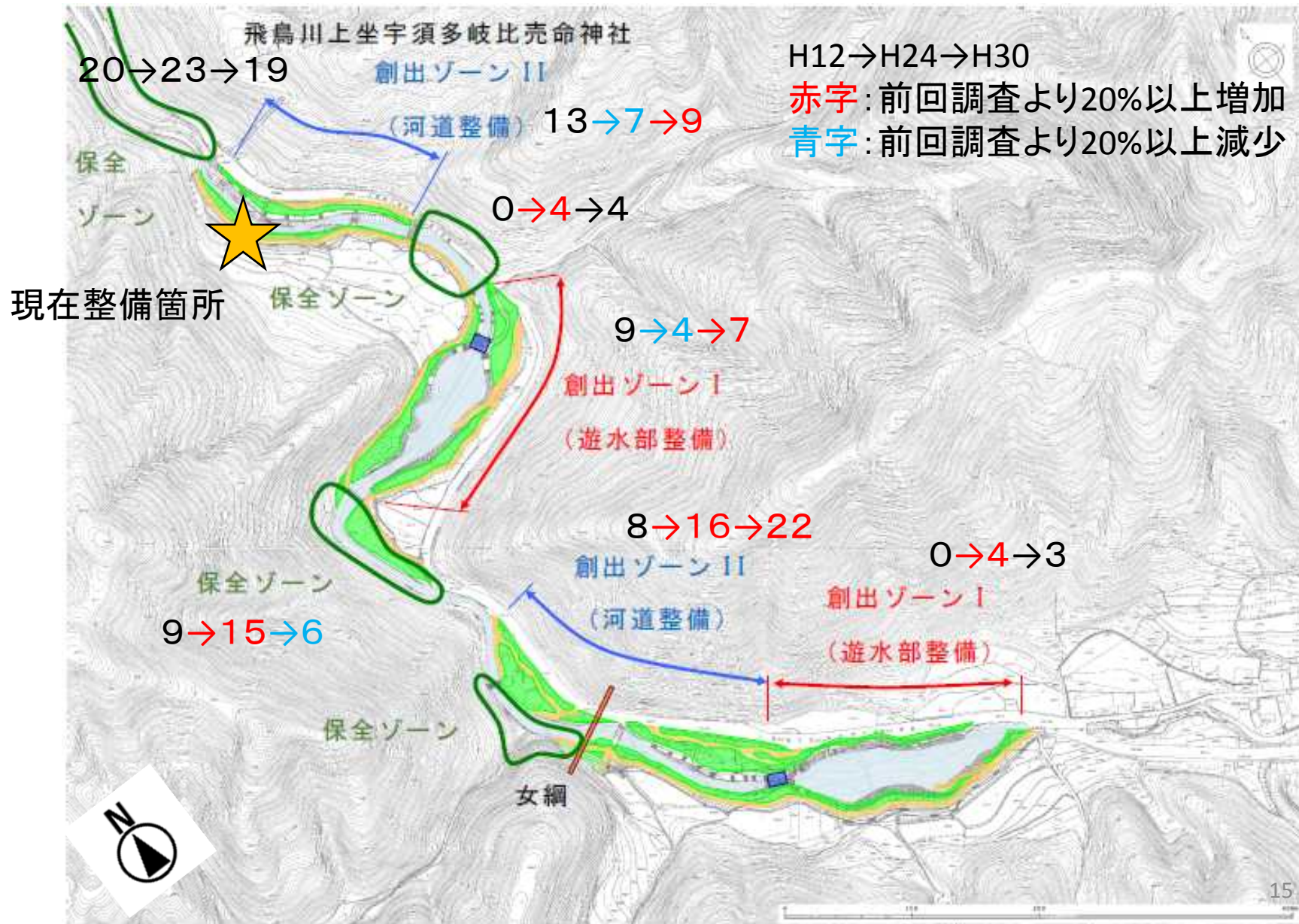
各ゾーンのホタルの成虫確認数



各ゾーンにおいて
河川整備による
ホタルへの影響は
あまりみられない

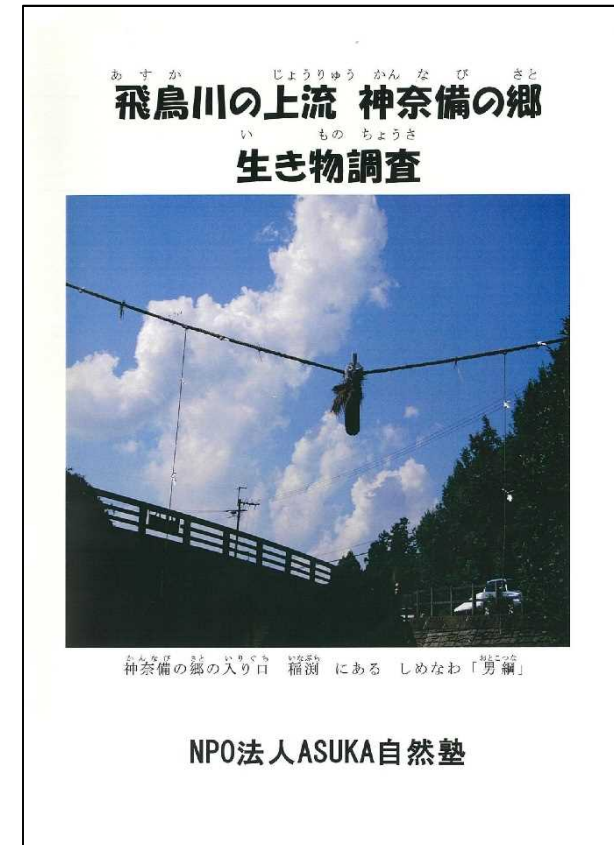
ゲンジボタルの数
ある1日の19時頃から21時頃
歩きながらの目視確認による

河川整備によるホテルへの影響



地域との協働（環境学習）

- 下池周辺での自然観察会



- 参加者が多く集まると、河床が荒れるなど、生態系が一次的に破壊されるデメリットがあるため、ロコミによる集客を実験的に行う
- 家族連れなど40名近くが参加

地域との協働（植栽活動）

- 上池周辺での植栽活動と外来植物駆除活動



- マンジュシャゲ、カワラナデシコ、カンゾウ、タデなどを植栽
- 同時にセイタカアワダチソウなどの外来種を駆除